（３面から続く）

武両道を実践した生徒です。将来はスポーツマネジメントを通し、アスリートの支援や地域振興に寄与したいという目標があり、難関である信州大学の受験を突破しました。明朗快活で社交性に優れ、責任感も強いため級友からの人望も非常に厚い人物でした。勉学への姿勢も模範的で、全ての教科で好成績を収めました。進学する上で、保護者の負担を軽減したい想いも抱いていました。人物・学業共に優れており、ここに推薦いたします。

足利銘仙の下着を開発

☆[redacted]さん・足利清風高校→文化学園大学服装学部ファッション社会学科

【抱負】私は、将来、下着製作の企画提案者になるために服飾関係の大学に進学した。入学後は、大学の強みであるファッションを根本とした７つの専門領域の科目を履修し、旧時な視点・作り手の視点・企画運営の視点などの多角的な視点や豊かな美的感覚を身につけ、服飾の基礎や服装史について知識を深めたいと考える。また、伝統的なデザインや時代に応じて移り変わる機能性を分析し、未来で好まれるデザインを考察する研究を行いたい。卒業後は下着会社に就職し、地元足利市の生地である足利銘仙をアップリケや生地に用いた下着を提案するなど、地元の文化を発信する活動を行っていきたい。これらのことを成すために日々精進していきたい。

【推薦理由】[redacted]先生…他者への思いやりを持ち、何事においても自己犠牲を厭わず積極的に取り組む真面目で誠実な生徒である。生徒会の副会長として、学校行事の企画・運営に尽力するとともに、生徒会役員のまとめ役も担った。学業面では３年間にわたり、極めて意欲的かつ継続的に努力を積み重ね、全ての教科について常に上位の成績を収めた。優秀な資質を持つが、決してその能力に慢心せず、平素から向上心を持って勉学に取り組める人物である。

子どもの個性を伸ばす保育士に

☆[redacted]さん・白鷗大学足利高校→白鷗大学教育学部

【抱負】私には長く追い続けている夢がある。それは、保育者として働くことだ。私は幼い頃から、自分よりも年下の子との関わりが多く、面倒を見ることが好きだった。それが理由で保育者になりたいという気持ちが生まれ、大学進学を目標に努力をし続けた。そして実現した今、私には大学生活を送る上での新たな目標が２つある。まずは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の両方を取得することだ。４年間で必要な知識を身につけ、必ず取得できるよう努力を惜しむことなく学ぼうと考える。次は、専門的な分野を学ぶことだ。ゼミナールを活用して特別支援保育などの専門分野を深くまで学び、私が理想とする「子ども一人ひとりの個性を伸ばせる保育士」になれるスキルを身につけたいと思う。これらの目標を叶えると共に多くの人と関わることでコミュニケーション能力も身につけ、一人の人間としても成長していきたい。

【推薦理由】[redacted]先生…入学当初より一貫して大学進学という明確な目標を持ち、真摯に学習に臨んできた。全教科にわたり授業時間を大切にし、家庭学習にも力を入れてきた。クラスでは、学級副委員長を３年間担い、常に全員の意見を引き出すように努め、クラスの団結力の向上に努めていた。将来は、保育士や幼稚園教諭として働くことを目指している。今後も勉学に励む十分な資質を備えているため、責任をもって推薦する。

発電効率を研究し電気技術者に

☆[redacted]さん・足利工業高校→足利大学工学部創生工学科電気電子分野

【抱負】私は大学入学後、基礎をしっかり身につけ社会で役に立つ実践力の習得を目指します。２年生からはゼミに所属し、電気主任技術者になるための高度な専門知識を学びたいと考えます。研究室では、興味のある発電設備について研究を行い、研究室のメンバーと協力し、発電効率を上げるための基礎研究を行い社会に貢献したいです。また、資格取得にも励み、高校時に取得した第２種電気工事士の上位資格である第１種電気工事士の取得を目指します。積極的に学び社会で貢献できる技術者になりたいと思います。

【推薦理由】[redacted]先生…高校入学時から意欲的に学習に励んでいる生徒である。特に電気に関する専門分野に興味・関心を深く持ち、工業の実習において実験結果を考察し、自ら原理・原則を追求しようと努力していた。また、部活動では吹奏楽部として定期コンサートや野球部応援等で力を発揮した。高校卒業後は、大学に進学し高度な専門知識を学び、将来は高電圧を取り扱う仕事に従事したいと話している。以上のことから、推薦に値する生徒と判断し推薦致します。

アンコールは、「渡良瀬橋」

収支のご報告

一般財団法人両毛育英奨学基金会の事業年度は、６月～翌５月です。一昨年度（２０２２年２月設立時～５月）と、昨年度（２０２２年５月～２３年６月）の収支について、ご報告いたします。一部速報値につき、多少の「ブレ」があることをご容赦ください。

		2022年度<速報値>（2022年6月～2023年5月）	2021年度（2022年2月～5月）
収入	寄付金	2,800,232	0
	その他	118	
	収入計	2,800,350	0
支出	奨学金	1,200,000	1,000,000
	贈呈式など	212,593	6,990
	会報制作・発送費	80,263	115,478
	あしかがみ広告掲載費	94,314	94,314
	法人住民税（均等割分）	81,400	6,700
	運営費	94,079	6,700
	設立・登記費用	0	183,749
	支出計	1,762,649	1,413,931
収支		1,037,701	−1,413,931

今年は新大学生12人に10万円ずつ給付しました

この１年間（昨年６月～今年５月末）にご寄付をいただいた方のご紹介。★３０７様（足利市）１４４万円　★㈱フライトワン様（足利市真砂町）１００万円　★㈱浅沼経営センターホールディングス様（足利市本城２）１０万円　★㈲樋口製作所様（足利市葉鹿町）５万円　★(特非)エネルギーヒーリング協会様（宇都宮市）５万円　★足利西ライオンズクラブ様　３万円　★渡良瀬よう子様（千葉県市川市）３万円　★朝海久子様（足利市小俣町）２万円　★佐々木啓之様（宇都宮市）１万円　★浜田英子様（足利市通２）１万円　★浜田陽一様（足利市通２）１万円　★本橋亮信様（足利市江川町）１万円　★安藤登美子様（小山市）１万円

そのほか、次の皆様からご寄付を賜りました。★東砂原後町有志様　★中山敬子様（東京都中野区）　★茂木敏弘様（太田市）　★役員有志

当会の業務はすべて無償ボランティアで行われています。皆様のご協力をお願いいたします。

ホームページ　http://ryomo-ikuei.net/　両毛育英　検索

ホームページでは、当会の情報のほか、今後、足利の有形・無形の文化について、ご紹介してまいります。

イラスト集「足利　天国の近代化遺産」（羽山弘一様）のご紹介

ホームページのご案内

両毛育英奨学基金会のホームページで、寄付のご案内や給付の歴史などを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。こちらのＱＲコードからどうぞ。

奨学金ご寄付のお願い

両毛育英奨学基金会は、市民の皆様の浄財によって成り立っています。地元の若い学生の進学を支援する奨学金へのご寄付をよろしくお願い申し上げます。

★ご寄付の受付先:
- みずほ銀行足利支店　普通預金 3028846
- ゆうちょ銀行　00190-0-488319

ご入金の際は、必ず、事務局までご連絡ください。
【事務局】0284-73-2770
mail@ryomo-ikuei.net
受領証を発行いたします。

なお、当会の運営は、全てボランティアによるもので、常勤スタッフはおりません。
現金のご寄付をご希望の方は、メールまたは電話で、上記までご連絡・ご相談下さい。

ご寄付者の氏名・企業名・団体名などは、
①市広報「あしかがみ」当会の広告ページ
②当会ホームページ
③当会会報（次号は、来年同時期に発行予定です）
にて、掲載させていただきます（匿名も可です）。